

≪ 第154回 エフエムぬまづ番組審議会 議事録 ≫

- 1 開催年月日 2024年3月8日(金)17:30より
- 2 開催場所 沼津市寿町8-28 メディアプラザ 1F 会議室
- 3 委員出席
- |            |  |
|------------|--|
| 委員総数       | 6名                                       |
| 出席委員数      | 5名                                       |
| 出席委員氏名     | 大川 皓平<br>井上 純代<br>保坂 典子<br>杉本 万千<br>林 伸晃 |
| 欠席委員氏名     | 小野 大輔                                    |
| 放送事業者側出席者名 | 田中 誠<br>植田 航平<br>飯塚 沙綾                   |

#### 4 議題

聴取番組名「沼津市津波避難訓練 中継」

2024年3月3日(日)①10:30頃～ ②11:03頃～ 放送

※スマイル・オン・サンデー内包

#### 5 審議内容

(事業者側:植田)定刻になりましたので第154回番組審議会を開催致します。

本日は、3月3日に行われた「沼津市津波避難訓練中継」を審議していただきます。  
内容については事前に沼津市危機管理課と決めたシナリオがありますが、中継尺に  
余裕があったため、シナリオにない事をアドリブで聞いていることもあり、緊張してい  
る部分があると思います。

(番組聴取)

(大川委員長) それでは、皆様のご意見をお伺いしたいと思います。保坂委員から意見・感想をお  
願います。

(保坂委員) 以前は、事前にインタビューして放送していたのですが、今回は現場からの中  
継されていたため、いいと思いました。心配していたスタジオとの携帯回線(電波)の  
状態は気にならなかったです。男性がずっと話していると、インタビューの中身が入っ  
てこないのが、起震車に乗った人のインタビューを入れるなど、男性だけでなく女性の  
声を聞くなど、内容に変化があった方がいいと思います。

(杉本委員) 現場の様子が聴けたため、様子が目に浮かびやすかったです。所々、訓練の経験談を入れるなど工夫すれば、もっと楽しい内容になると思います。

(林委員) 当日、生でラジオを聴いていました。現場の様子は、聴いていて伝わってきました。願わくは「現場は、こうです。」という言葉以外に、臨場感が伝わるよう工夫したほうがいいと思います。訓練会場でインタビューしていましたが、スタジオでインタビュー(収録)している時との差がさほど無かったと思います。

(井上委員) せっかく現場で中継しているのに、聴いていると録音のような内容だったと思います。周りのザワザワ音が入ってもいいし、起震車の近くで子どもが驚いている声が入ったりするなど、臨場感が伝わるように工夫したほうがいいと思いました。インタビューを受けた連合自治会長と防災指導員の方は、事前の打合せがしっかり出来ていたせいか、素人にしては落ち着いていましたが、そんなに目新しい話が無く、私達が常日頃聞いている話とそんなに変わらなかったのも、もうちょっとコンパクトでもよかったと思います。今回の会場が西浦地区ですぐ海があり避難タワーがあるため、どこにあって、高さがどのくらいあって、何人くらいの方がタワーに登れるといった、会場ならではの情報について紹介があってもよかったと思います。スタジオに戻った際のBGM(ジャズ)が場違いなものだったという印象がありました。

(大川委員長) 中継の音質は気にならなかったです。事前の打合せがしっかりできていたからか、ライブ感が無かったと思います。事前収録でも良かったと思う内容でした。インタビュー

を受ける人が緊張して詰まっても、ある意味ライブ感があったと思います。当日、訓練中、会場に邪魔してインタビューする必要が無い内容だったと思います。現場でレポートしていましたが、イベントの紹介になっていると思います。訓練を実際どういう流れでやっているのか、どういう気づきがあったか、訓練がどうだったのかという内容が無かったと思います。訓練の動きや何人ぐらい参加しているのか伝えた方がいいと思います。また、訓練後に結果検証をどこかで伝えた方がいいと思います。

(井上委員) 旧西浦小学校が海の近くにあるため、私たちが住んでいる地域と、津波の危険が高い地域と訓練の内容が異なるか知りたいと思います。

(事業者側:植田)良くも悪くもマイクの性能が年々上がっており、私たちの認識では現場音がけっこう入っていると思っていましたが、会場にて大音量で流れていた緊急地震速報の音も入っていなかったです。スタジオとスマートフォンで繋いでいますが、スマートフォンのノイズキャンセルも効いていると思います。当日、起震車に乗らせてもらえる話がありました。かなりの行列があり、割って入る訳にはいかなかった現場の事情がありました。事前に準備していた A4 の紙に記載の内容では、やりとりが 1 分で終わってしまうため、プラスアルファの情報を引き出す事に注力していました。指摘の通り、レポートが長くなっているのは否めないため、コンパクトにする工夫が必要だと思いました。スタジオに戻った際の BGM は必要ないとオンエアを聴いて思いました。訓練を実施して、どう変わったのか、何を学んだのか、今後どのように活かしていくのか、中継の中では伝えられませんが、番組の中で追って伝える事はできると思いますの

で、そういった情報のフォローを出来る限り、危機管理課とダグを組んでできればいいと思います。

(事業者側:田中)危機管理課とよく打合せができておりインタビューが詰まらずにスムーズにできていたと思います。連合自治会長と防災指導員と連続ではなく、時間を分けてインタビューしていたのは、リスナーが飽きなくていいと思います。臨場感が無いとの指摘をいただきましたので、臨場感が伝わるように工夫していきたいと思います。

## 6 審議会での意見についてとった措置について

各委員から頂いた意見や感想については、今後の自社制作番組に活かし、より良い番組作りをする検討材料とします。

## 7 審議会の内容の公表

公表の方法 自社ホームページにて公表

([https://www.coast-fm.com/aboutcompany\\_council.html](https://www.coast-fm.com/aboutcompany_council.html))

公表内容 番組審議会議事録

公表年月日 2024年3月29日

## 8 その他の参考事項

次回番組審議会は、2024年5月10日(金)17:30より開催

以上